

## 平成22年度地域密着型金融推進計画

### 基本方針

1. 金庫経営の基本であるCS(お客さま満足度)の向上に結びつけた地域密着型金融推進活動に全役職員で取り組む。
2. 地域の情報をお客様の繁栄および地域の活性化に繋げ、ひいては当金庫経営力の一層の強化に結びつける。
3. お客さまおよび地域のニーズに応えられる人材を育成する。

### 大項目毎の取組方針と個別の取組項目

#### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

日常のきめ細かい活動により、企業の経営環境・経営状態を把握し、各企業の成長段階・ニーズに応じた経営支援を行うとともに、そのための人材育成に努めます。

- 取組項目
- (1) 早期再生と持続可能性のある事業再構築
  - (2) 創業・新事業進出ノウハウの提供
  - (3) コンサルティング能力・態勢の強化
  - (4) ビジネスマッチングの活用
  - (5) 中小企業施策の活用
  - (6) 事業承継問題に対する相談体制の活用

#### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

当金庫の強みである“Face to Face”の活動と職員の一層の目利き能力向上への取組により、企業の定性情報および定量情報を適正に評価し、取引先の状態・ニーズに合った融資手法の適用に努めます。

- 取組項目
- (1) 目利き機能の向上
  - (2) 渉外担当者の訪問管理軒数の増加
  - (3) 目利き力の向上と取引先の定性情報の的確な把握

#### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」の情報機能を活用し、地方公共団体・商工会議所・地域商店街等と連携して地域の活性化に努めます。また、日常の活動を通じてお客様のニーズの把握に努め、可能な限りそのニーズに応えることで地域に貢献し、地域での信頼感の向上を図ります。

- 取組項目
- (1) 地域資源活用プログラム認定支援を通じた地域経済への貢献
  - (2) 地域顧客に対する情報提供機能の強化
  - (3) 地域を担う若い世代への金融知識の普及

#### 4. 協同組織金融機関としての取組

協同組織金融機関としての機能を強化するために、会員組織の機能充実および会員との関係強化を図ります。そして、地域でより一層の信頼を得るために当金庫の経営力の強化に努めます。

- 取組項目
- (1) 会員からの意見の金庫業務への反映
  - (2) 法令等遵守の徹底
  - (3) リスク管理体制の強化

・個別の取組項目と推進計画

取組項目	具体的取組策	実施スケジュール		備考
		22年度上期	22年度下期	
<b>1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化</b>				
<b>(1) 事業再生</b>				
早期再生と持続可能性のある事業再構築	シミュレーションソフトを用いて取引先企業の現状を分析し、営業店の支援活動方針と支援先ごとの支援方針を決定する。 また、支援先の状況を定期的に把握し、支援の進捗状況に応じて支援活動方針を再構築していく。	支援先を選定し支援方針を決定する。 ・支援先企業へのモニタリングを実施する。 ・企業の経営改善計画書の作成を支援する。 ・ <b>中小企業再生支援協議会</b> を活用した再建策を検討する。	・支援先企業へのモニタリングを実施する。 ・企業の経営改善計画書の作成を支援する。 ・ <b>中小企業再生支援協議会</b> を活用した再建策を検討する。	事業再生計画策定先数 目標75先
<b>(2) 創業・新事業支援</b>				
創業・新事業進出ノウハウの提供	新事業進出に係る経営革新計画策定支援等、創業計画の策定を支援するとともに、中小企業支援施策等の情報を提供する。 また、地元商工会が開催する創業塾を支援する。	・創業希望者に対して事業シミュレーションの実施を支援する。 ・地元商工会が開催する創業塾や経営革新講座を支援する。	創業希望者に対して事業シミュレーションの実施を支援する。	
<b>(3) 経営改善支援</b>				
コンサルティング能力・態勢の強化	経営支援担当者を対象にした支援ツール活用の勉強会を実施し、支援ツールを活用した提案活動を実施する。	新たな支援ツール活用の自主勉強会を開催する。	・新たな支援ツール活用の自主勉強会を開催する。 ・新たなツールを活用した提案活動を実施する。	
ビジネスマッチングの活用	ビジネスマッチングフェアへ参画し取引先へ、各種のビジネスマッチングフェアの開催情報を提供する。 また、えんしん経営者クラブが主催する交流会とビジネスマッチングを支援する。	・「ビジネスマッチングフェアinHamamatsu 2010」を浜松信用金庫と共催する。 ・東海地区信用金庫協会が主催する「しんきんビジネスマッチングフェア2010」の出展企業・発注企業・産学官連携ビジネス大賞の募集を行う。 ・えんしん経営者クラブが主催する地域活性化セミナー&交流会を支援する。 ・三遠南信8信金が主催する「しんきんサミット」出展企業・地域活性化事例発表企業の募集を行う。	・「しんきんビジネスマッチング2010」に参画する。 ・三遠南信7信金とともに「三遠南信サミット」を開催する。 ・えんしん経営者クラブが主催する「新春経営セミナー&交流会」を支援する。	
中小企業施策の活用	<b>中小企業応援センター</b> へ参画し、取引先への中小企業支援施策に関する情報提供と経営革新等各種計画の認定支援に努める。	・中小企業応援センター事業に参画して、経営革新等各種計画の認定支援等により取引先の経営改善支援に役立てる。 ・取引先に対して各種中小企業施策に関する情報を提供する。	上期取組を継続する。	
<b>(4) 事業承継</b>				
事業承継問題に対する相談体制の活用	外部機関等と連携した相談体制を活用することにより、事業承継問題に対応する。	・浜松商工会議所の事業承継支援センターと連携し、事業承継問題を抱える取引先の相談に対応する。 ・えんしん経営者クラブ主催の「後継者セミナー」を支援し、事業承継ニーズに対応する。	上期取組を継続する。	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資				
目利き機能の向上	外部の「目利き講座」に職員を派遣する。また、自主勉強会を実施して職員の目利き力の向上を図る。	東海地区信用金庫協会主催の「企業再生支援講座」へ職員を派遣する。	目利き力向上のための自主勉強会を実施する。	
渉外担当者の訪問管理軒数の増加	訪問管理軒数を増加されるための研修ならびに実践訓練を実施する。	職員の定期積金セールス技術向上実践訓練を実施する。 ・管理者研修を実施する。	・上期取組を継続する。	
目利き力の向上と取引先の定性情報の的確な把握	定量面での実態把握に努めるとともに、企業の将来性等の定性面を見極める力(目利き力)の向上を図る。また、定性情報を適正に評価するとともに信用格付等へ反映させる。	・目利き力向上の外部研修へ職員を派遣する。 ・勉強会と臨店指導の実施により、信用格付の精度向上を図る。	信用格付と自己査定の整合性向上を指導する。	

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生				
地域資源活用プログラム認定支援を通じた地域経済への貢献	平成22年2月に認定を取得した地域資源活用プログラムについて、計画の具体化に向けての協議へ参画し、また活動に協力する。	「NPO法人奥浜名湖観光まちづくりねっと」と連携して語り部、観光ガイドの養成、観光コースの策定等に協力する。	上期取組を継続する。	
地域顧客に対する情報提供機能の強化	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、地域顧客に対して金融経済動向等の情報提供を行う。	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携して、地域顧客に「しんきんパートナー」「景況レポート」等の金融経済動向等の情報を提供する。	上期取組を継続する。	
(2) 地域活性化のためのサービス提供				
地域を担う若い世代への金融知識の普及	地域の学校や事業所に対する金融セミナーを実施する。	金融セミナーを実施する。	上期取組を継続する。	

4. 協同組織金融機関としての取組			
(1) 会員との関係強化			
会員からの意見の金庫業務への反映	会員に対するアンケート結果を金庫業務へ反映する。	会員に対するアンケートの結果および金庫対応策をホームページに掲載する。	地区別総代会において総代との意見交換を実施し、その意見を金庫業務に反映する。
(2) 経営力の強化			
法令等遵守の徹底	勉強会・講習会等の実施によりコンプライアンスの認識を強化するとともに、各種会議でコンプライアンスの状況等を開示していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「営業店不祥事件徹底防止」マニュアルを参考書として勉強会を実施する。</li> <li>・外部講師による階層別コンプライアンス研修を実施する。</li> <li>・コンプライアンスオフィサー会議で苦情等の事例を発表し、再発防止を図る。</li> <li>・コンプライアンス認識テストを実施し、コンプライアンス意識の醸成を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託のコンプライアンス研修を実施する。</li> <li>・係長を対象に不当要求防止責任者講習を実施する。</li> <li>・コンプライアンスオフィサー会議で、苦情等の事例を発表し、再発防止を図る。</li> </ul>
リスク管理体制の充実	勉強会を実施して、リスク管理統括委員のリスク認識を向上させ、各リスク指標の特徴と問題点を把握して一層の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク量計測手法の高度化と多様化を図る。</li> <li>・各種シミュレーションの実施により、リスクを多面的に捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合的リスク管理向上のための外部研修に職員を派遣する。</li> <li>・信用リスク量計測手法の高度化のため、問題点等の内容を検討し、原因を検証する。</li> </ul>

\* 青文字は用語解説があります。

<用語解説>

中小企業再生支援協議会	地域の中小企業の事業再生に向けた取組みを支援する公的機関です。
中小企業基盤整備機構	中小企業者その他の事業者の事業活動に必要な助言、研修、資金の貸付等、事業活動の活性化のための基盤整備を行う独立行政法人です。
ビジネスマッチング	金融機関のお客さま同士をビジネスでつなぐことです。
中小企業応援センター	専門家派遣を通じて新事業展開や事業承継など高度・専門的な経営課題に対応、支援機関を經由して、あるいは直接、中小企業の皆様を応援する機関です。
目利き機能	目利き能力とは、企業の将来性や技術力を的確に評価する能力のことをいいます。当金庫においても、企業の事業運営の仕組みを理解する力を高め、創業企業および取引先企業に対する経営相談・支援機能を発揮できる人材を育成する等目利き機能の向上に努めています。
定性情報	貸借対照表や損益計算書等の数値・データおよびそれらの推移等を定量情報と言うのに対して、企業が持つ技術力や市場環境等を評価したものを定性情報と言います。
信用格付	信用格付は、統一的な基準で企業を評価することにより企業評価を標準化するとともに、貸出に係る信用リスクを計量化することにより貸出資産の健全性を確保する仕組みです。
設備担保信用補完制度	お客さまが保有する機械設備を担保として、その価値を基準にリース会社と信金中央金庫が融資を保証する制度です。
NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」	県西部地域を対象として、経済動向の把握、中小企業に対する経営情報の提供、生活者に対する金融経済知識の普及等を行うことを目的として、浜松信用金庫と共同で設立したシンクタンクです。
会員	当金庫の地区内に住所または居所を有する者、事業所を有する者もしくは勤労に従事する者で、事業者においては、従業員300人以下または資本金が9億円以下に限られており、出資をされている方です。
法令等遵守(コンプライアンス)	急激な時代の変革の中でより健全経営を遂行していくため、企業・職業倫理の向上に努め、日常業務運営において法令や規則等を遵守して違法行為等の早期発見や事故等の未然防止を図ることです。
VaR	Value at Risk の略。将来の特定の期間内に、一定の確率の範囲内で資産の現在価値がどの程度損失を被るかを、過去のデータをもとに理論的に算出した値で、リスク量の計測に使われます。
ストレステスト	現状のリスクや資本の状況に大きな変化が起こったときに金庫の資本充実度がどのように変化するかを検証することです。一定のシナリオ等に基づき、特定のリスク・ファクター(金利、株価、為替等)を大きく変動させて資本の状況を確認します。